

# 久喜市内の主な事業箇所の経過報告

久喜市内では高柳地区において約15haに及ぶ工業団地の整備や県道久喜騎西線のバイパス整備が決まるなど、重要な事業が着々と始まっています。その他、利根川の堤防強化事業をはじめ庄兵衛川、青毛堀川、小林調節池整備などの治水対策や主要幹線道路の歩道整備や交差点改良など、主要事業の現状と経過についてご報告します。

## 利根川堤防強化着々と進行中①



利根川堤防強化事業は首都圏を洪水被害から守るため、利根川堤防の安全性を早急に向上させることを目的として国が行っている事業です。栗橋地区においては市街地であることから住民と検討を重ね、地元の要望を取り入れた堤防強化事業改良案として進められています。



**八坂神社の手に防災公園整備**  
防災公園には、地元の消防・水防団の防災基地、地元住民のための避難所、子供たちの防災教育の場としての機能を備えた防災センターが整備される計画です。



▲堤防面の高上げは概ね終わり、堤防の外側にあった八坂神社も高上げされた堤防の上へと移築されました。今後は八坂神社前の堤防面の高上げ及び防災公園の整備、道路の付け替えなどが順次行われ、令和6年には完成する予定です。

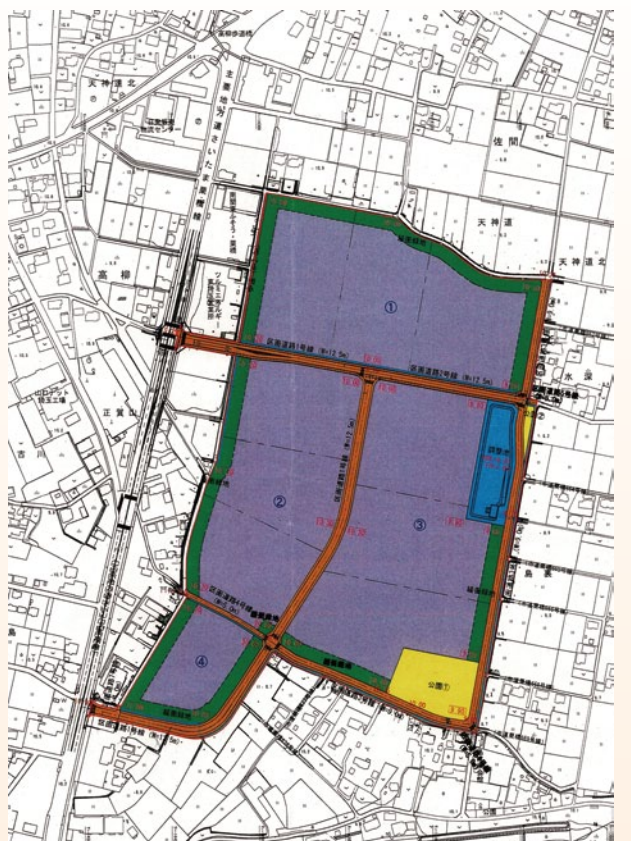
## 高柳工業団地整備が実現！②

高柳地区において、約15haにおよぶ工業団地の整備事業が来年度から本格スタートします。

圏央道、国道125号及び県道さいたま栗橋線など広域交通網が整備されており、優良企業の誘致が期待されます。



▲現在は広大な田んぼが広がる高柳地区。工業団地の整備で雇用の創出、地域経済の活性化が図られます。



## 県道幸手久喜線の歩道整備③

県道幸手久喜線の県立久喜工業高校前の400m区間は歩道が片側しかなく、たいへん危険な状態が続いていました。昨年の12月定例会でも歩道整備の必要性を訴えてきましたが、地元地権者など関係者の方々の協力もあり、整備事業が本格化することになりました。



▲日頃から交通流が多く、歩道の整備は県道を利用する全ての方々の願いでした。ようやく実現の目途がたちホッとしています。

## 旭橋(鷲宮停車場線)の整備進む④

鷲宮停車場線の青毛堀用悪水路に架かる旭橋は老朽化が進み、また歩道が片側にしかなく危険な状態となっていることから、昨年の12月定例会で早期の架け換えを求めました。現在、架け換え工事が急ピッチで進められています。



## 県道久喜騎西線バイパス整備へ⑤

県道さいたま栗橋線から「アリオ鷲宮」の脇を通り「県立鷲宮高校」の前を通って加須市に至る県道久喜騎西線バイパスの整備が来年度からスタートします。完成すると、「済生会加須病院（令和4年6月開院予定）」と久喜市中心部が最短距離で結ばれることになります。



▲県道川越栗橋線との交差点から県立鷲宮高校方面を望む。加須市内はすでにバイパスの一部が完成しており「加須はなさき公園」の脇を抜けて「スーパービバホーム加須店」の前を通り「済生会加須病院」へとつながります。

## 門樋橋(県道さいたま栗橋線)⑥



橋りょうの架け換えに向け準備が進められています。



▲日頃から交通流が多く、歩道の整備は県道を利用する全ての方々の願いでした。ようやく実現の目途がたちホッとしています。

## 旭橋(鷲宮停車場線)の整備進む④

鷲宮停車場線の青毛堀用悪水路に架かる旭橋は老朽化が進み、また歩道が片側にしかなく危険な状態となっていることから、昨年の12月定例会で早期の架け換えを求めました。現在、架け換え工事が急ピッチで進められています。

## 庄兵衛堀川の治水対策⑭

既存調節池（昭和沼・久喜菖蒲公園）と庄兵衛堀川を延長約300mの地下連結管（導排水路）でつなぐ事業が進んでいます。

庄兵衛堀川流域は、農業地域として発達した地域でしたが、近年は立地条件の良さから都市化が進み、中小の出水でも湛水被害が発生しています。そのため河床の掘削や河道の拡幅及び築堤が進められてきましたが、昭和沼を活用することで治水能力のさらなる向上が図られます。



◆河川名:利根川水系一級河川庄兵衛堀川 ◆流域面積:11.01km<sup>2</sup>

## 小林調節池整備事業⑬

野通川流域はこれまで度々水害に見舞われてきました。小林調節池は野通川をはじめ元荒川流域全体の湛水被害を防ぐために設置が進められている面積約13.8haの洪水調節池です。野通川の水位が上昇すると堤防の一部低くされている越流堤から調節池内に流入し、河川の水位が下がるとポンプアップ及び自然流下で野通川に排水されます。

現在、国の国土強靱化事業の一環として、大幅に加速して事業が進められています。



## 青毛堀川の治水対策⑮

青毛堀川の河川改修事業は国と県が協働で取り組んでいます。



▲写真は鷲宮駅西口を流れる青毛堀川捷水路。護岸はきれいに整備されましたが、今後は河床の掘削や樹木の伐採などの整備が必要だと考えています。



## 小林調節池整備事業⑬

野通川流域はこれまで度々水害に見舞われてきました。小林調節池は野通川をはじめ元荒川流域全体の湛水被害を防ぐために設置が進められている面積約13.8haの洪水調節池です。野通川の水位が上昇すると堤防の一部低くされている越流堤から調節池内に流入し、河川の水位が下がるとポンプアップ及び自然流下で野通川に排水されます。



◆河川名:利根川水系一級河川庄兵衛堀川 ◆流域面積:11.01km<sup>2</sup>

## 小林調節池整備事業⑬

野通川流域はこれまで度々水害に見舞われてきました。小林調節池は野通川をはじめ元荒川流域全体の湛水被害を防ぐために設置が進められている面積約13.8haの洪水調節池です。野通川の水位が上昇すると堤防の一部低くされている越流堤から調節池内に流入し、河川の水位が下がるとポンプアップ及び自然流下で野通川に排水されます。

現在、国の国土強靱化事業の一環として、大幅に加速して事業が進められています。

